

科目名称: 幼児と人間関係					
担当者名: 川邊 音生					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	1年後期	講義	必修	2	子ども福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		24107220
授業概要: 現代の幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身に付ける。また、他者との関係や集団との関係の中で幼児期の人とかかわる力が育つことを理解する。					
到達目標: 幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解する。また、幼児期の人間関係の発達について、幼稚園生活における関係発達論的視点から理解できる。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 現代社会と幼児の人間関係			事前に現代社会における乳幼児の人間関係について、コロナ禍が影響している状況の変化について考えておく(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第2回 幼児期の仲間関係の構築過程			事前に幼児期の仲間関係の構築過程と特徴について、講義資料を読み、内容をまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第3回 未満児における人間関係の発達			事前に未満児における人間関係の構築過程と特徴について、講義資料を読み、内容をまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第4回 親や保育者との出会いとかかわり			事前に親や保育者との出会いとかかわりについて、講義資料を読み、内容をまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第5回 友だちとの出会いとかかわり			事前に園生活における友だちとの出会いとかかわりについて、講義資料を読み、内容をまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第6回 遊びの中で見られる人とかかわり(1)遊びと子どもの育ち			事前に遊びの意義、重要性について、講義資料を読み、内容をまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第7回 遊びの中で見られる人とかかわり(2)遊びの中の人とかかわり			事前に遊びの中で育まれる人とかかわりと特徴について、講義資料を読み、課題についての考えをまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第8回 生活の中で見られる人とかかわり(1)家庭生活			家庭生活の中で育まれる人とかかわりについて、講義資料を読み考えをまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第9回 生活の中で見られる人とかかわり(2)個と集団			事前に集団生活の中で育まれる人とかかわりについて、講義資料を読み、内容をまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第10回 乳幼児期の自立心の育ち			乳幼児期の自立心の育ちと援助について、講義資料を読み課題についての考えをまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第11回 幼児期の協同性の育ち			事前に幼児期の協同性の育ちについて、講義資料を読み考えをまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第12回 幼児期の道徳性・規範意識の芽生え			事前に幼児期の道徳性や規範意識の芽生えについて、講義資料を読み内容を理解しておく(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第13回 家族や地域とかかわりと育ち			家族や地域とかかわりと子どもの育ちについて、講義資料を読み内容をまとめておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第14回 幼児期に育みたい資質と人間関係			事前に幼児期に育みたい資質と人間関係について、講義資料を読み内容を理解しておくこと(60) 事後、学習内容を振り返りながらまとめる(60)		
第15回 まとめ			これまでの授業内容を整理し、復習しておくこと(60)		
履修に必要な予備知識や技能: 幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を通読しておくことが望ましい。					
課題に対するフィードバック: 前回の授業の要点や、出席カードに記載された質問について授業初めに確認する。事前課題・レポートは点検後に返却し、講評する。					
評価方法・基準: 定期試験 60%、小テスト 20%、受講態度(授業への参加度) 20%					
教科書: 使用テキストなし					
参考書: 「幼稚園教育要領解説」文部科学省(フレーベル館)、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省(フレーベル館)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省(フレーベル館)					
備考: 参考文献として『ワークで学ぶ 保育内容「人間関係」』菊池篤子編(みらい)を使用する。 グループワークを適宜取り入れ、考える力を養う。					
実務経験の内容・期間: 保育教諭(2年)					